

ほけんだより



2024. 2. 9

海南市立大東小学校

今年も6年生は、^{やくぶつらんようぼうしきょうしつ}薬物乱用防止教室を受けました。



学校薬剤師で下津薬局の若林俊徳先生に出前授業をしていただきました。

薬剤師という仕事の話や、最近の薬物に関する事件の話などもあり、薬物のパンフレットを見ながら詳しく説明していただきました。大麻や覚せい剤などの標本も見せていただきました。

6年生の感想を紹介しします。

* 今回の授業をとおして、薬物を乱用すると危険だということを改めて実感しました。薬物は乱用してしまうと、げん覚が見えたり、体が思うように動かないと知りました。それに加え、一度使うとやめられないらしいので、初めの判断で人生が大きく変わるんだと恐怖を感じました。また、SNS で簡単に手に入ったり、隠語を使って売る人がいると聞いたので、あやしいと思ったらすぐ誰かに相談しようと思いました。

* 薬物にも、大麻やMDMA などたくさんの種類があって、強さなども違うということを知りました。大麻を乱用し続けると知覚の変化、IQ の低下などになり、さらに乱用すると依存してしまうことがわかりました。

今は薬物などが手に入りやすくなっていて、外国は日本より手に入りやすいので気を付けたいと思います。今回の授業で改めて、薬物はやってはいけないということがわかりました。

* 薬物を吸ってしまうと、幻覚を見たり、運動機能の低下、内臓機能の低下、感情のコントロールが効かなくなるなど大変な害が出るのだと初めて知りました。

薬物にも、いっぱい種類がありました。その薬物によって害も違うのだと知りました。死に至るものもありました。もし知っている人が薬物を使おうとしていたら、ちゃんと薬物の危険性を教えて注意しようと思います。

* 薬物乱用防止教室で、大麻や危険ドラッグについて学びました。大麻や危険ドラッグは昔よりも手に入れることが簡単になってきていて、1回でも使ってしまうとなかなか止められなくなるそうです。私は絶対にやめておこうと思いました。

